



## 社労士のつぶやき(95) ジョブ型雇用のひとりごと

### ●ジョブ型人事指針

8月26日、政府は「ジョブ型人事指針」を発表しました。ジョブ型とは、職務に適したスキルや経験に合わせて採用する雇用方法のことです。日本では未経験者が「清掃員」に応募することが可能で、その代わり給料安いのが当たり前です。むしろ「清掃のプロ」は敬遠されがちです。ジョブ型は出身校や性別、年齢を問わないので「実力を高く買ってくれ！」という人にはうってつけです。ジョブ型はこれまで医師とか大型特殊運転手、腕の良い料理人など文字通り「特定の業務」限定の雇用方法でした。しかしこの数年「欧米では当たり前で、日本も導入しないと人材が流出してしまう！」の大合唱が沸き起り、全ての職務に適用しようというのが指針の趣旨です。早速開いてみたのですが、200ページ超の大作の中でジョブ型雇用の説明はたった6ページ。あとは有名企業の導入事例だけで、しかも「リ・スキリング」や「アサインメント」など大切な用語はすべてカタカナ語。一瞬でゲンナリ。「顧問先に説明できひんやないかい、何が指針じゃ！」と思わずツッコみました。

### ●「職業の時代」を迎えるか？

企業（役所や飲食店などを含め）に採用されることを「就職」と言いますが、実際は「就社」です。私は職業柄、履歴書を見る機会が多いのですが、全く同じ仕事に転「職」する人は少数です。そして企業は「就社」した人が長く勤務してほしいと思っています。何が言いたいのかというと、欧米型とは、特定の業務に従事しつつ景気の変動や他企業からの好条件のオファーがあれば簡易に転職できるというものであり、導入の可否は日本の企業がこのシステムに馴染めるか否かにかかっている、ということです。日本は解雇規制が厳しいので、閉鎖された工場の社員が子会社であるレストランの店員に異動するという「企業内労働市場の転職」が当たり前に行われてきました。社員としては不況でもクビにならず、生活を維持することはできますが、逆に企業は社員の職種どころか勤務地など、一人ひとりのスキルや生活すら左右する影響力を持つことになるのです。つまり企業にとってジョブ型雇用の導入とは、人事権が削られた上ですぐ人が辞める制度、なのです。逆に社員にはスキルアップとアピールが求められます。指針で紹介されたある導入企業では、「簡素化された650項目の職務記述書」に各自が書き込まないといけないそうです。労使とも導入に耐え得るのか？でも、給料が上がってどこに転「職」しても過去のスキルが通用する「職業の時代」を迎えるのは、悪いことでは決していないような・・・。

社労士事務所アジュール 高龍弘

## 燃料カードの価格表【2024年10月分】

### AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	158.0円
ハイオク	167.0円
軽油	139.0円

【価格は税抜】

### ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	159.5円
ハイオク	169.5円
軽油	133.5円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	153.5～155.5円	155.3～157.3円	153.9～155.9円
ハイオク	163.5～165.5円	165.3～167.3円	163.9～165.9円
軽油	129.5～131.5円	133.8～135.8円	132.0～134.0円

【価格は税抜】

### 全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	TRUST & FLEX カード (出光)	エネクスフリート
レギュラー	152.8～154.8円	155.4～157.4円	156.0～158.0円	151.2～153.2円
ハイオク	162.8～164.8円	165.4～167.4円	166.0～168.0円	161.2～163.2円
軽油	127.7～129.7円	133.9～135.9円	129.2～131.2円	129.2～131.2円

【価格は税抜】